

支払いと入金ベストタイミングとは？ / 経営者が社員に知ってもらいたい管理会計

Index

- 1 なぜ、「黒字倒産」が起こるのか分かりますか？
 - 2 入金サイトと支払サイト
 - 3 入金サイトと支払サイトを把握してみよう
 - 4 資金繰りの改善方法を考える
 - 5 取引先との良い関係が大切
-
-

1 なぜ、「黒字倒産」が起こるのか分かりますか？

会社の利益は、売上と費用の差引で計算されます。問題は、売上と費用が、現金の動きと必ずしも一致しないことです。なぜなら、売上債権（売掛金など）や仕入債務（買掛金など）は取引を行った月末等を締日とし、そこから数カ月後に決済されるのが通常なので、売上や費用の計上タイミングと一致しないのです。これは、利益に相当する現金が売上と同時に獲得できるわけではないことを意味しています。

利益と現金収支の関係を次の事例で確認してみましょう。

●事例1

業績好調で各月仕入在庫は翌月に完売し、毎月2倍のペースで売上が増加。

売上債権：売上月末締め翌々月末決済（2カ月後決済）

仕入債務：仕入月末締め翌月末決済（1カ月後決済）

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計 または残高
売上	0	150	300	600	1,200	2,400	4,650
売上原価	0	-100	-200	-400	-800	-1,600	-3,100
利益	0	50	100	200	400	800	1,550
売上債権	0	150	450	900	1,800	3,600	3,600
仕入債務	100	200	400	800	1,600	3,200	3,200
収入	0	0	0	150	300	600	1,050
支出	0	100	200	400	800	1,600	3,100
収支	0	-100	-200	-250	-500	-1,000	-2,050

売上のペースに合わせて利益も毎月2倍のペースで増加しており、一見、非常に優良な会社に見えますが、現金収支は毎月マイナスとなっており、利益が増えるほど収支のマイナスが増加していることが分かります。

売上債権は2カ月後決済のため、この会社の場合、損益計算書に計上した売上が4月以降にならないと入金されません。同じく仕入債務は1カ月後決済のため、売上が発生した2月から支払期限が到来することになります。

このように、常に支出が先行する状態にあります。加えて、売上増加に伴い仕入も増加するため、資金不足が拡大していきます。このまま資金不足を解消できない場合、黒字であっても支払いはできずに会社は倒産するという、いわゆる、「黒字倒産」に陥る恐れがあるわけです。

サンプルレポート

本レポートは、サクセスネットで公開している
ビジネスレポートの一部を公開したサンプルです。
サクセスネットサイトにログインした後、全文を
閲覧することができます。